

「オーガニックビジネス実践拠点連携セミナー」取組報告

1、かごしま有機農業推進協議会

□取組スタート 2008 年取組開始

□構成団体 鹿児島県内 3 自治体 鹿児島市、姶良市、南さつま市
生産者・消費者団体 姶良有機部会
生活協同組合コープかごしま
(株)エム・オー・エー商事
(有)かごしま有機生産組合
有機農業の普及・有機 J A S の認証団体
NPO 法人鹿児島県有機農業協会

2、オーガニックフェスタの開催

2008 年より、今年度 2019 年まで連続 11 年間開催

3、国際オーガニック映画祭の開催

4、取組実績 昨年までの実績内容

5、今年度の取組

- ① 第 20 回有機農業フォーラム
- ② 土壌分析の実施（6 ヶ所）
- ③ 新規就農者への支援（3 カ所にて 6 回）
- ④ 地域毎の情報交換会（5 地域）

6、番外編

※ 海外輸出への取組

2、オーガニックフェスタの開催の様子

2008年より、今年度2019年まで連続11年間開催

有機農業のすばらしさ、大切さを知ってもらうために有機的な暮らしの提案活動を行っています。





2日間限りの、Organicの夢の国。

オーガニックフェスタはそんな言葉がびったりのお祭り。
 今年は150店舗を超えるお店が大集合。
 旬の有機野菜をはじめ、お茶、蜂蜜、
 パンやスイーツなどの有機加工品、
 手作り雑貨、有機食材のみを使用した
 キッチンブースと多感に盛り、
 さらに遊び村・ステージ企画で、
 今年も手作りいっぱい、
 Organicいっぱい
 開催しました。



遊び村 竹遊具



ステージ



キッチン



リユース

熟練スタッフ手作りの竹遊具は超豪快！
毎年子供たちにも大人気です。

ステージではオーガニックに誇りを持つアーティストの方々のパフォーマンス。今と未来の世界に想いを馳せる斬新な時間になりました。

ここではどの店も「オーガニック」。今年はなんと「たご焼き」まで登場！おいしく、そして身体と地球のことを大切にしたい食べ物を創る方々に感謝です。

お祭りだけでなく出るごみを極力減らすため「減ってまた使える」リユース資源を導入して5年目になります。食器の回収率が稼働になることが多く、今年はほぼ100%が保ててきました！



3、国際オーガニック映画祭の開催

第11回 INTERNATIONAL ORGANIC FILM FESTIVAL

国際オーガニック映画祭

in KAGOSHIMA 2018

ご報告

いのちのタネ明かし
いのちを知る。
世界の“いま”を知る。
私の“これから”が見えてくる。

「鹿児島での開催ではあるけれど、「オーガニック」という文脈では世界と繋がっているんだ」という思いを持って「国際」という冠を付けて始まった映画祭も、今年で11回。昨今の種子法・種苗法にまつわる意識を持って取り組んでいきたい想いもこめ、「いのちのタネ明かし」もテーマに開催しました。今年はWEBサイトの制作にも力を入れ、多くの方に触れていただきました。

開催日 2018 8/28(火)・9/3(月)・9/7(金)～9(日)

開催場所 【よかセンター】18/28(火)・9/3(月) 【ガーデンズシネマ】19/7(金)～9(日)

集客数 約 500名

上映作品 全8作品

1 いただきますみそをつくることもたち劇場版
(2017年/日本/75分)



福岡市・東区保良園。自分たちが飲むみそ汁のみそを毎月10の日に必ず仕込み、園食関係に基づき玄米・みそ汁・旬の野菜の給食で、毎年入園するアールオー園児の成長も実感されていく。よく食べ、よく遊ぶ、元気のいいアールオー園児が描かれている作品。

2 種子—みんなのもの？それとも企業の所有物？
(2017年/南米/40分)



農業も豊かな食文化もすべては1粒の種子から。しかし大規模農業が推進される中、種子は契約所有権の対象となり、買取り・遺伝子改変などによってグローバル企業による支配が進められている。中と社会を交える種子を守るためカンパニアを始める世界で広がっている動きを紹介する。

3 カレーライスを一から作る
(2016年/日本/96分)



福岡県・東区宮崎が筑紫野美術大学の課外ゼミで行った活動の記録。「モノの原点を知ることで社会が見えてくる」と考え、野菜や肉、米、スパイス、塩、油やスプーンに至るまで、必要なすべての材料を一から自分たちでつくる。うさぎにわたる旅行経験の米に学ぶ力をが農業にたもつとは。

4 たね
(2016年/米国/94分)



20世紀だけで世界の44%の生産者が消失。農業の近代化で利益重視の農業の工業化が進められ、大規模農場で一代農種(1F)や遺伝子組み換えの種が育てられるようになった。現代社会の課題を直面し、種と人との関係を見つめ直す。

5 チャルカ～未来を紡ぐ糸～
(2016年/日本/99分)



北海道の稚内市には、高レベル放射性廃棄物の地層処分候補地を研究する施設がある。その隣で稲作を営む一帯。さらに稲作の製造地域の研究施設、地下処分施設を建設中のフィンランドや建設予定のあるフランスにも取材し、様々な観点から放射性廃棄物について知っていく。

6 ほたるの川のまもりびと
(2017年/日本/85分)



長崎県川棚川の下游にある小さな支流、石水川にダムを作る「石水ダム」計画。13世帯54人の「こうばる地区」の人は、ダム計画をめぐって半世紀の間、自分たちの暮らしと計画に戦って暮らしてきた。ダムは本当に必要なのか。「たて護国に暮らしたい」という住民たちの思いが、映像を通じてつづられていく。

7 おだやかな革命
(2017年/日本/100分)



高齢化や高齢化など多くの課題を抱えた地域で、これからの暮らしを自分たちの手で作り出し、未来の豊かさを取り戻していく人々の姿を描く。現代社会が見失った「豊かさ」とは何かを問いかける。

8 街を食べる
(2012年/英国/12分)



イギリス北部の街トッドモーデン。この町では伝統的な祭りを行っており、野菜やハーブ、果物を食の好きな所に植え、誰でもそれを持って行ってよい。もちろん食べられる。誰もが参加できるこの祭りが、街の賑わいを、街と人々を大きく変えていく。

4、取組実績 平成30年度までの実績内容

【生産概要】(鹿児島市、姶良市、南さつま市 の3地域)

○取組面積

	平成26年度	平成30年度
有機農業取組面積	4,320a	8,486a
うち有機JAS取得面積	4,120a	6,212a

○有機農業者数

	平成26年度	平成30年度
有機農業者	49戸	94戸
うち有機JAS認証取得者	31戸	63戸

○栽培品目

米、玉ねぎ、おくら、葉にんにく、じゃがいも 等

【成果】(鹿児島市、姶良市、南さつま市 の3地域)

○有機農産物の生産量

	平成26年度	平成30年度
有機農業生産量	485t	529t
うち有機JAS認証農産物	302t	339t

○構成員の取引先 = 生協、スーパー、小売店、卸売 等

平成26年度	152ヶ所
平成29年度	260ヶ所

○有機農業新規参入者の増加

45戸増

5, 2019年度の取組

①、第20回有機農業フォーラム の開催

第20回有機農業チャレンジフォーラム 2019

経営を語る!! 技術を語る!!

テーマごとに
徹底討論

 討論テーマ

1. 緑肥活用しての成功と失敗
(アドバイザー：雪印種苗・吉田浩司)
2. 病虫害への効果的対処は？
(アドバイザー：外園幸夫・市川克久)
3. 手軽な有機JAS管理記録作成は？
(アドバイザー：川崎直人・伊地知京子)
4. 地球畑＝生産者と販売者、本音で語ろう
5. 地力をいかにつけるか
(アドバイザー：園山秀国・三箇良治)

日時 2019年 **7月16日** 火 15:00～17:00

会場 **霧島国際ホテル** 住所：鹿児島県霧島市牧園町高千穂 3930 番地 12
TEL：0995-78-2621

参加費 **無料** (有機農業にご関心のある方ならどなたでもご参加いただけます)

主催 **かごしま有機農業推進協議会**
【構成団体】 鹿児島市・姶良市・南さつま市
生活協同組合コープかごしま・提携MOA商事
NPO 法人鹿児島県有機農業協会
姶良有機社会・かごしま有機生産組合

お問合せ **TEL.099-282-6867**



開催日 :2019年7月16日(火)

開催場所: 霧島国際ホテル

「第20回有機農業チャレンジフォーラム2019」開催

参加者:134名



- 緑肥作物の利用効果について雪印種苗の技術者と果樹農家の実践を聞く。
(防虫、雑草抑制による省力化等、失敗しない利用方法)



- 病害虫への効果的な対処法とは！土着天敵活用術 等



●今、話題の機能性野菜について！ 生産から販売まで



●地力をいかにつけるか！生産者の経験談を交えて考える



●手軽な有機JASの管理記録作成は？



5, 2019年度の取組

②、土壌分析の実施(6ヶ所)

土壌分析装置の活用による生産コストの削減・改善の取組、農場にて講習会の開催、データ収集と分析を実施した。

■有機品目： セロリ圃場の診断＝1ヶ所

人参圃場の診断 ＝1ヶ所

キャベツ圃場の診断 ＝1ヶ所

玉ねぎ圃場の診断 ＝2ヶ所

じゃが芋圃場の診断 ＝1ヶ所

上記の品目について、現地圃場の状況確認・土壌分析・分析結果後意見交換会を行ない、分析の結果より対策の検討・指導を実施。

・圃場の状況確認



・土壌分析機にて診断



・分析結果表を基に意見交換会と今後の検討

土壌分析結果および施肥提案 (施肥提案)

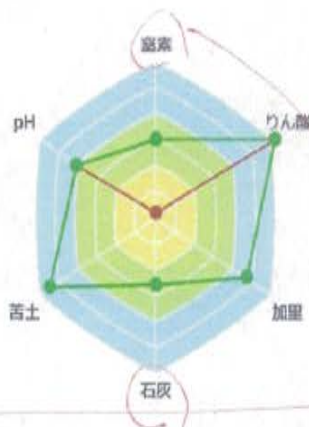
測定店舗

基本情報

測定日	2019年07月25日	依頼者	中間農園
作付面積	20 (反)	区画名	セロリ予定圃場
作土深さ	10cm	土質	畑壌土
作物	セルリー	地域	福岡
備考	地域は鹿児島がなかった為、福岡を選択		

土壌バランス

- 高
- 基準値
- 低
- 測定値
- 施肥後予測値



ポイント

窒素が不足気味で、りん酸・加里が多めです。L型肥料や単肥で整えましょう。

石灰に対して苦土が多めです。

苦土が多めですので苦土資材の施用は控えめにしてください。

おふりかまを中心に入れる

分析結果

成分・項目	単位	測定値	基準値	低	基準値	高	施肥後予測値
窒素		3.1	29.6~44.4	●			37.0
硝酸態窒素		0.6	—				
アンモニア態窒素		2.5	—				
りん酸	mg/100g乾土	54.7	16.0~24.0			●	54.7
加里		38.8	20.0~30.0			●	38.8
石灰		174.1	143~250		●		174.1
苦土		56.9	25.5~34.0			●	56.9
pH	pH	6.5	6.0~6.5		●		6.5
EC	mS/cm	0	—				
石灰/苦土比	meq/meq	2.2	3.0~7.0	●			2.2
苦土/加里比		3.4	2.0~4.0		●		3.4

施肥提案

資材	反当たり 必要施肥量 (kg/反)	作付面積に 対する 必要施肥量(kg)	一袋入数 (kg/袋)	必要数 (袋)	成分比率 (%)					備考
					窒素	りん酸	加里	石灰	苦土	
尿素	73.7	1473	20	74	46	0	0	0	0	

5, 2019年度の取組

③、新規就農者への支援(3カ所にて6回)

研修圃場の設置及び研修圃場での技術講習会の開催。鹿児島市、
姶良市にて設置各会場にて技術講習会の開催

■有機品目： かぶ 圃場にて 2回開催

新規就農 4年目の生産者



■有機品目： にんにく・大根 圃場にて 2回開催

新規就農 1年目の生産者



■有機品目： 人参 圃場にて 2回開催

新規就農 5年目の生産者



ささいな疑問等を話し解決できるのは、やはり 実際に圃場と農産物を直に
観ながらでないと疑問などは解けない、今回の研修で得たことは他の作物
にも応用でき、有機農業発展に繋がる貴重な圃場研修会であった。

5, 2019年度の取組

④、地域毎の情報交換会(5地域)

有機農業者・新規就農者・有機農業就農希望者・実儒者・栽培技術委員を交え栽培品目、生産量、作付時期の調整の為の意見交換会を開催し効率化を図る為、5地域で開催

■ 地域生産者、関係者との圃場視察



・インセクタープランツ(土着天敵の飛来、土着・市販天敵の定着、増殖などを助ける植物のこと)



■ 有機農産物 安定供給構築の為 南薩地域生産者、関係者との意見交換会



6, 番外編

海外輸出への取組

2020年1月16日 南日本新聞 掲載記事

有機生産組合がタイ輸出

ニンジンとブロッコリー

県発行証明書添付で初

かこしま有機生産組合（鹿児島市）は15日、ニンジン、ブロッコリーのタイ輸出を始めた。青果物の一部は、タイの衛生基準に適合するという原産地の証明書が必要。県農政課によると、県発行の証明書添付した青果物輸出は初めて。



日本貿易振興機構（ジェトロ）によると、日本からタイへの青果物輸出額は増加し、2018年は前年比4割

増の13億円。タイは安全性確保のため18年に食品衛生規制を設けており、ニンジン、キャベツなど約60品目は選果・梱包施設の衛生検査を受けなければならない。

組合は18年から香港、マカオ、シンガポール、ドバイ、クウェートに輸出。19年10月期決算では年間計300万円を売り上げた。

商社の誘いを受け、タイ向けに必要な検査・手続きを19年12月までにニンジン、ブロッコリーで済ませた。出発式は組合の施設前で、ニンジン3トン、ブロッコリー0.5トン、ブロッコリー0.5トンがタイに初出荷する有機栽培のブロッコリーやニンジン、タイ向けに積み込まれるブロッコリーやニンジン15日、鹿児島市のかこしま有機生産組合

1トン、証明書が不要なサツマイモ0.1トンをトラックに積み込み、泊手で送り出した。福岡を経由し、海路で2月1日に到着。スーパーで販売される。組合海外事業部によると、他の品目も打診があれば対応する。福元飛勇真部長（仮）は「安心安全で旬の有機野菜を海外に届けた」と話した。20年10月期のタイを含む海外分の売上高は3千万円を見込む。

